

神樹の会会報

No. 38

平成 8 年 5 月 20 日

発行所：神樹の会

発行人：水野 整一

(事業所)

本部事務所（六甲作業所内）
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
六甲作業所、東部デイサービス
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533
明芳デイサービス
〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4 ☎735-8835
垂水作業所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675
福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

花の心
ありがとうと
素直になりたい私です
素直になれない 困ると言って
心配かけました
口で言っても分らないときは
叱って下さい
花の心になりたい
すなおになりたい
涙はみせない
泣いたら負けになるから
いつまでもほほえみを

花の心



進歩には改革と勇気が...

平成二年度に発足した神樹の会の事業の一つである東部デイサービスが平成八年五月（予定）をもって社会福祉法人神戸明輪会の傘下に移行されることになった。場所は東部デイサービスを前に実施していた魚崎の場であり、すでに所長、指導員などは予定されている。これは神戸市の計画である「各区に身体障害者のデイサービスの場を一ヵ所ずつ」の案に沿うものであり、東灘区に新しく整備された公のデイサービスの場が開所されることは喜ばしいことである。が、本会としてはこれから卒業してくる方々のために、何かの形で集える場所を用意しなければならないのは必至である。神戸市より補助を頂き運営している六甲作業所に、その補助を平成八年四月より神戸市から国の補助へと切り替える旨の報告が民生局からあった。これは大震災後、神戸市の財政の見直しによるものであり、これからは国から補助を頂くことになる。そのためには、社会福祉法人の運営によるものでなくてはならないし又、一定の面積が満たされていなくてはならないということである。六甲作業所は六甲希望の家の二階の部分だけであるが、一階の部分の面積を含めて条件が満たされるようである。社会福祉法人神戸明輪会を通して補助金は頂くが運営は神樹の会がするという事になっている。六甲作業所は神樹の会が発足して最初に作った事業であり、会員の精神的なよりどころであっただけに気持ちは複雑である。進歩には改革と勇気がいるということであろうか。

決意を新たに

神樹の会名誉会長 牧野 一夫

今般、神樹の会の施設の一部が法人傘下に吸収されることになった。一面まことに結構なことではあるが、反面われわれは決意を新たにして会の目標を見据えてかからねばならない。私的機関として六甲作業所にしても、東部デイサービスにしても、どちらかと言えば家庭的雰囲気の下に運営されたので、ある意味では甘さもあり、厳しさの足りない運営であったと言えよう。それらが法人運営に切りかえられることによって、就業規則は厳正になり、能率は高められることになろう。甘えよりの脱却がいっそう必要となるであろう。これは親として心を得るべきことである。この際神樹の会は何を為すべきであろうか。考えてみる必要がある。



吸収されるにしても現在かかえている重度障害者をそのままにしておくことは出来ない。そのことは従来より懸念されたことであって特別会計を設け基金を積み立ててきたが独力で完成することは容易なことではない。行政がどれほど援助を与えてくれるかはわからないが、その芽生えだけでも作っておかねばならない。二つ目として障害者が公的施設に収容されたとしても、そのすべてが満足に施行されるとは考えられない。彼らの心の支えとしてその援助的役割を果たして行かなければならない。第三に年と共に高齢老境を迎える保護者同志の精神的支援の場としての存在が是非とも必要である。お互いに慰め合い励まし合ってゆく憩いの場をつくらねばならない。神樹の会は単に子弟のみに必要なものではなく親子もろとも心のよるべとして存在することを忘れてはならない。

この際決意を新たにして活力の場としての神樹の会の発展に協力してゆく決意を高めようではないか。

(カット 鳥越清敏)

平成8年度
総会

日時 平成8年6月23日(日)
午後1時30分～

場所 神戸市勤労会館
3階 308号室

審議事項
平成7年度事業報告
平成8年度予算 他

ふるって
ご出席下さい

このゆびと〜まれ...

もっています
心と身体のゆとり

浅野 陽子

今から十年ほど前、静岡東病院というてんかん治療専門の病院に母子入院していた頃のことです。母親指導という時間があり、先生方が順番に脳波や薬の話をして下さっていました。そんな中に、他の先生方のテーマとは全く違い、天体の話ばかりをされていた方がおられました。家族と離れ、何か月も子どもの発作と向き合っていると、どうしてもそればかりに目がいき、気持ちに余裕がなくなることもありました。そんな時には星を見て、宇宙の大きさを思い、気分を変えてみよう、そういう内容だったように覚えております。

うちのこどもは、ふたりとも重度の障害児。毎日、それなりに楽しく暮らしていますが、私の仕事は十分すぎるほどあり、時には「フーッ」とため息が出ることもあります。私の辞書には、もうだいたい前から、ヒマとか退屈とかいった文字はありませんが、余裕、ゆとりの文字は消さないようにしようと思っています。

(垂水養護学校
中3・小1の母親)

お知らせ

* 民生局相談係長として長年ご指導頂いた尾上係長様が須磨区役所へ転任され、後任として北村俊樹様が着任されました。

* 平成8年4月より神戸市民生局の名称が変更になりました。

[旧] 神戸市民生局心身障害福祉室育成課・相談課
[新] 神戸市保健福祉局障害福祉部育成課・相談課

* タクシー利用助成制度が変わりました。
年間72枚。1回2枚使用可。
釣銭はなしで1枚五百円です。
くわしくは、各区役所福祉部在宅支援課まで。

感謝

平成八年一月から五月までに、次の方々より尊い寄付をいただきました。

- ・ 藤井和信様
- ・ 村田 孝様
- ・ 庄司百合子様
- ・ 野田 理様
- ・ 金澤葉子様
- ・ 鳥越清敏様
- ・ 長谷照彦様
- ・ 南筑高校生徒会様
- ・ レーブ・ド・シエフ様

友生 養護学校

転出
 小林 禎嗣 垂水小学校校長
 井元 みどり 青陽東養護学校
 川崎 慶寛 垂水養護学校
 清村 明仁 盲学校
 小林 紫乃 神港高校
 田中 雅文 長峰中学校
 清道 司 鷹匠中学校
 岡井 敦士 玉津第一小学校
 栗原 千津 垂水東中学校
 三原 潤 水木小学校
 富野 悦子 兵庫中学校北分校
 河野 理恵子 本山南中学校
 田淵 啓史 垂水養護学校

退職
 森安 貞夫
 松井 義治
 織田 春
 後藤 焯子
 平井 麻紀子
 山田 徹夫

今春の人事異動により垂水養護学校の原田由雄校長先生がご退職になり、新しく神戸市教育委員会指導部指導第二課より川上博校長先生をお迎えしました。又、友生養護学校19名、垂水養護学校20名の先生方が転退職されました。

そして、去る3月には、友生養護学校・垂水養護学校高等部の卒業生15名が元気に新しい道へと歩みだしました。皆様の今後のご活躍をお祈りいたします。

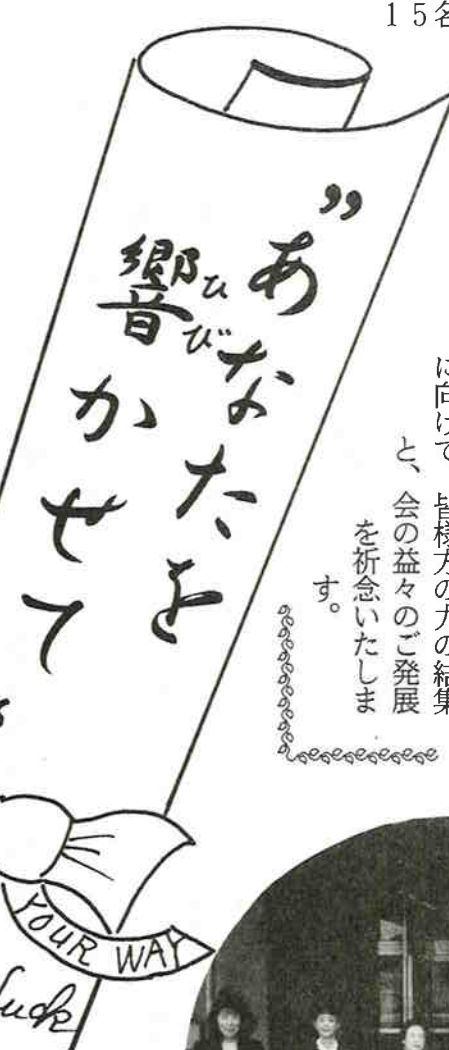
会の充実を 祈念して

原田 由雄

神樹の木も新芽をふき春爛漫の頃となりました。

長期にわたる神樹の会の皆様のご厚情に支えられ、三月末をもって、無事教職の任を終えることができました。

あの大震災のあと、障害児・者を取りまく福祉の問題点がより明らかにされたように思います。今こそ、問題解決に向けて、皆様方の力の結集と、会の益々のご発展を祈念いたします。

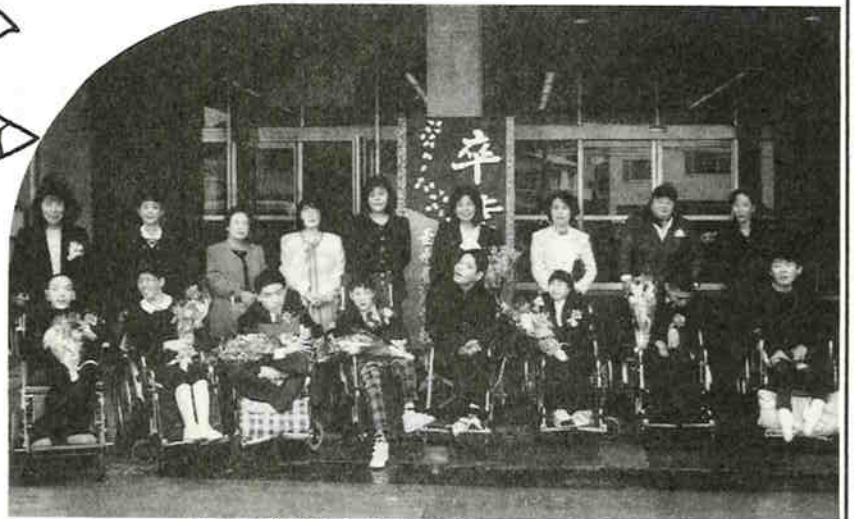


▲友生養護学校高等部卒業生のみなさん

転出
 原田 千津子
 西脇 正明
 橋本 和司
 大石 博子
 木村 成子
 福田 幸恵
 仁木 伸作
 北林 稔
 伊藤 智恵美
 小山 博威
 岡本 良一
 森本 智也
 福原 昭
 宮崎 京子
 柳内 美香江
 市橋 豊成
 都司 幸子
 中尾 仁美

退職
 原田 由雄
 加治 夕起子
 船木 長助

有馬幼稚園
 西山小学校
 多井畑小学校
 青陽西養護学校
 青陽西養護学校
 吾妻小学校
 福池小学校
 青陽東養護学校
 舞子中学校
 岩岡中学校
 友生養護学校
 神陵台中学校
 大池中学校
 本多間中学校
 須磨北中学校
 有野中学校
 烏帽子中学校
 友生養護学校



▲垂水養護学校高等部卒業生のみなさん

計報

平成八年一月より四月までに次の会員の方々が亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

庄司 定男様 (友生養護学校 小学部五年) 庄司周平さんの父親
 西村 美穂様 (友生養護学校 小学部五年)
 平谷 顕子様 (友生養護学校 小学部二年)
 山本 繁代様 (垂水養護学校高等部三年 山本聖一さんの母親)
 堀江 教様 (昭和四十五年卒 堀江昌吾さんの父親)
 吉本 清子様 (平成三年卒 友生養護学校卒業)
 金澤 宏様 (昭和五十七年度卒 金澤実佳さんの父親)
 紙谷 善枝様 (昭和四十二年卒 紙谷恵子さんの母親)
 潮 喜吉郎様 (昭和四十八年度卒 潮道男さんの父親)

あとがき

若葉がさわやかに映える季節となりました。会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。三十八号をお届けします。神樹の会も二十五年が過ぎ、いろいろな面で変革が必要になって参りました。会員の皆様よろしくご協力お願いいたします。

ご意見、その他詩など編集委員までお寄せ下さい。
 (白石 伊藤 田中 中尾 吉岡 日高 中野 宮脇)

明芳デイサービス五周年

平成三年に開所した明芳デイサービス事業が、去る五月七日に五周年を迎えました。

震災のため全壊しましたが、皆様のお陰で再開できましたこと、明芳外科医院長のご厚意に感謝しつつ、ささやかな記念式をしました。

